

2025年度第3四半期(4～12月)決算について

2026年1月30日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第3四半期	連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第3四半期	連結決算の概要	．．．	3
□2025年度	連結業績予想	．．．	4
□2025年度	連結業績予想の修正概要	．．．	5
□2025年度	期末配当予想	．．．	6
□参考資料		．．．	7

■ 第3四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績（累計）

（単位：億円）

	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	6,177	6,464	△ 287	△ 4.4
営業利益	791	644	146	22.7
経常利益	679	568	111	19.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	488	546	△ 58	△ 10.7
1株当たり四半期純利益	232円58銭	261円07銭	△28円49銭	

財政状態

（単位：億円）

	当第3四半期末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	23,782	22,440	1,342
純資産	4,597	4,073	524
自己資本比率	18.7%	17.5%	1.2%

■ 第3四半期 連結決算の概要

売上高 (減収)	燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整額の減少などにより、前年同期に比べ287億円減少の6,177億円となりました。
経常利益 (増益)	労務費・物価および金利の上昇はありましたが、燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整制度の期ずれ差益の拡大や水力発電量の増加に伴う燃料費の減少などにより、前年同期に比べ111億円増加の679億円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (減益)	経常利益の増加はありましたが、特別利益に計上した核燃料売却益の減少などにより、前年同期に比べ58億円減少の488億円となりました。

■ 2025年度 連結業績予想

2025年度通期の連結業績につきましては、至近の動向を踏まえ、2025年10月31日に公表した連結業績予想を修正いたしました。

(単位：億円，億kWh)

	2025年度見通し			今回見通し 対前年度増減
	今回公表 (A)	10月公表 (B)	増減 (A)-(B)	
売上高	8,670程度	8,680程度	△ 10程度	△350程度
営業利益	590程度	570程度	20程度	△160程度
経常利益	430程度	430程度	同程度	△210程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	280程度	280程度	同程度	△360程度
(対前年度増減率) 小売・他社販売電力量	(3.1%程度) 346程度	(2.5%程度) 344程度	2程度	10程度
(対前年度増減率) 小売販売電力量	(△0.4%程度) 227程度	(△0.4%程度) 227程度	同程度	△ 1程度

※ 小売販売電力量および小売・他社販売電力量は、北海道電力(株)および北海道電力ネットワーク(株)の販売電力量を示している。

【主要諸元】

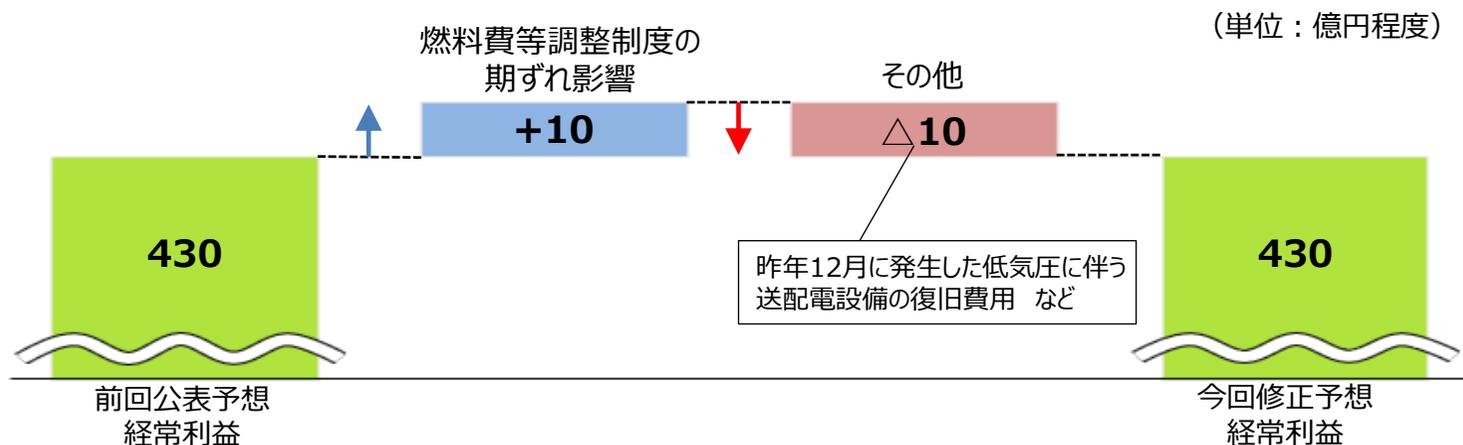
為替レート (円 / \$)	150程度	145程度	5程度	△ 3程度
原油CIF価格 (\$ / bl)	71.0程度	75.0程度	△ 4.0程度	△ 11.0程度

※1月以降、為替レートは155円/\$程度、原油CIF価格は65 \$ /bl程度と想定している。

■ 2025年度 連結業績予想の修正概要

小売・他社 販売電力量	小売販売電力量は、10月公表値から変更しておりませんが、 相対卸販売量の増加などにより他社販売電力量が増加する見込みであることから、 小売・他社販売電力量の合計では、10月公表値に比べ2億kWh増加の346億kWh程度となる見通しです。
売上高	燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整額の減少などにより、 10月公表値に比べ10億円減少の8,670億円程度となる見通しです。
経常利益	燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整制度の期ずれ差益の拡大はありますが、 昨年12月に発生した低気圧に伴う送配電設備の復旧費用などにより、 10月公表値と同程度の430億円程度となる見通しです。
親会社株主に帰属 する当期純利益	10月公表値と同程度の280億円程度となる見通しです。

< 経常利益の変動要因（対10月公表比較） >



■ 2025年度 期末配当予想

2025年度の期末配当予想につきましては、前回公表から変更はありません。

【1株当たり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2024年度 (実績)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2025年度	15円	(15円)	(30円)	1,500,000円	(1,500,000円)	(3,000,000円)

※2025年度の（ ）内は予想値。

■ 参考資料

2025年度第3四半期連結決算

- ・連結収支比較表
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結経常利益の変動要因（対前年同期比較）

2025年度連結業績予想

- ・連結経常利益の変動要因（対前年度比較）

参考

- ・燃料費等調整制度の期ずれ影響（イメージ）

連結収支比較表

(単位：億円)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常 収益	営業収益 (売上高)	6,177	6,464	△ 287	△ 4.4
	電気事業営業収益	5,838	6,113	△ 275	△ 4.5
	その他事業営業収益	338	350	△ 11	△ 3.3
	営業外収益	33	26	7	27.7
	合 計	6,210	6,490	△ 279	△ 4.3
経常 費用	営業費用	5,385	5,819	△ 433	△ 7.5
	電気事業営業費用	5,104	5,529	△ 424	△ 7.7
	その他事業営業費用	281	289	△ 8	△ 3.0
	営業外費用	145	103	42	40.8
	合 計	5,530	5,922	△ 391	△ 6.6
[営 業 利 益]		[791]	[644]	[146]	[22.7]
経 常 利 益		679	568	111	19.7
渴水準備金引当又は取崩し		5	△ 6	12	-
特 別 利 益		12	195	△ 183	△ 93.8
税金等調整前四半期純利益		686	770	△ 83	△ 10.9
法 人 税 等		193	216	△ 23	△ 10.9
四 半 期 純 利 益		493	553	△ 60	△ 10.9
非支配株主に帰属する四半期純利益		5	6	△ 1	△ 27.8
親会社株主に帰属する四半期純利益		488	546	△ 58	△ 10.7
(参考)	四半期包括利益	591	580	11	2.0

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株)	(株)北海電工	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくてんアソシエ
苫東コージェネレーションセンター(株)	ほくてんエナジー(株)	石狩LNG棧橋(株)
ほくてんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	道南水力発電(同)
ほくてん情報テクノロジー(株)	森ハイパーパワー(同)	(同)HARE晴れ
(同)ゆうにじ ※1		北海道再エネアグリゲーション(株)
		石狩湾新港洋上風力(同) ※2

※1 (同)ゆうにじは、2025年11月21日に設立したため、当第3四半期連結会計期間から連結子会社に含めている。

※2 石狩湾新港洋上風力(同)は、2025年9月10日に設立したため、中間連結会計期間から持分法適用会社に含めている。

販売電力量（連結）

- ・小売販売電力量は、卸電力市場価格や燃料価格が低位で推移しており、厳しい競争環境にあることなどから、合計で15,525百万kWh、対前年伸び率△2.9%となりました。
- ・他社販売電力量は、再生可能エネルギーの買取増加に伴う販売量の増加などにより、合計で9,142百万kWh、対前年伸び率15.2%となりました。

(単位：百万kWh)

			当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
小売	低圧	電灯	5,323	5,335	△ 12	△ 0.2
		電力	927	953	△ 26	△ 2.7
		計	6,250	6,288	△ 38	△ 0.6
	高圧・特別高圧		9,231	9,650	△ 419	△ 4.4
	小計(※1)		15,481	15,938	△ 457	△ 2.9
	その他(※2)		44	55	△ 11	△ 18.3
	合計		15,525	15,993	△ 468	△ 2.9
他社販売電力量			9,142	7,932	1,210	15.2
小売・他社販売電力量合計			24,667	23,925	742	3.1

※1 小計欄は、北海道電力(株)の販売電力量を示している。

※2 その他欄は、北海道電力ネットワーク(株)の販売電力量を示している。

供給電力量（連結）

- ・ 泊発電所が全基停止する中、出水率が102.4%と平年を上回ったことに加え、供給設備の適切な運用により、安定した供給を確保することができました。

(単位：百万kWh)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
発 電 電 力 量	(出水率%)	(102.4%)	(89.1%)	(13.3%)	
	水 力	3,034	2,461	573	23.3
	火 力	10,407	11,290	△ 883	△ 7.8
	(設備利用率%) 原 子 力	(-)	(-)	(-)	-
	新エネルギー等	36	88	△ 52	△ 58.3
計		13,477	13,839	△ 362	△ 2.6
他社受電電力量※		13,486	12,588	898	7.1
揚水用等		△ 323	△ 376	53	△ 14.1
合 計		26,640	26,051	589	2.3

※他社受電電力量には、連結子会社や持分法適用会社からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当第3 四半期連結 累計期間 (A)	前第3 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
売 上 高	6,177	6,464	△ 287	△ 4.4	
電気事業営業収益	5,838	6,113	△ 275	△ 4.5	
2 社 合 計 ※					
電 灯 ・ 電 力 料	4,075	4,254	△ 179	△ 4.2	【増加要因】 ・国による電気・ガス価格激変緩和対策等 事業に伴う値引額の減少 【減少要因】 ・燃料費等調整額の減少 ・小売販売電力量の減少
そ の 他	1,775	1,870	△ 95	△ 5.1	【減少要因】 ・国による電気・ガス価格激変緩和対策等 事業に伴う補助金の減少
地 帯 間 ・ 他 社 販 売 電 力 料 (再 掲)	1,232	1,300	△ 68	△ 5.3	
託 送 収 益 (再 掲)	375	306	68	22.5	
子 会 社 ・ 連 結 修 正	△ 12	△ 11	△ 0	—	
その他事業営業収益	338	350	△ 11	△ 3.3	
営 業 外 収 益	33	26	7	27.7	
経 常 収 益	6,210	6,490	△ 279	△ 4.3	

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常利益）

（単位：億円）

		当第3 四半期連結 累計期間 (A)	前第3 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用		5,104	5,529	△ 424	△ 7.7	
2 社 合 計 ※	人 件 費	422	430	△ 8	△ 2.0	
	燃 料 費	940	1,248	△ 307	△ 24.7	・燃料価格の低下 ・水力発電量の増加に伴う燃料費の減少 ・小売販売電力量の減少
	購 入 電 力 料	1,802	1,857	△ 54	△ 2.9	
	修 繕 費	481	552	△ 71	△ 13.0	・労務費・物価上昇に伴う増加 ・発電設備に係る修繕費の減少
	減 価 償 却 費	487	500	△ 13	△ 2.7	
	そ の 他 費 用	1,016	978	37	3.9	・労務費・物価上昇に伴う増加
子会社・連結修正		△ 45	△ 38	△ 6	-	
その他事業営業費用		281	289	△ 8	△ 3.0	
営業外費用		145	103	42	40.8	
支払利息(再掲)		106	80	25	32.0	・金利上昇に伴う増加
経 常 費 用		5,530	5,922	△ 391	△ 6.6	
経 常 利 益		679	568	111	19.7	

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結セグメント情報

- 北海道電力セグメントの売上高は、燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整額の減少などにより、前年同期に比べ395億円減少の5,273億円となりました。
セグメント損益は、労務費・物価および金利の上昇はありましたが、燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整制度の期ずれ差益の拡大や水力発電量の増加に伴う燃料費の減少などにより、前年同期に比べ66億円増加の574億円の経常利益となりました。
- 北海道電力ネットワークセグメントの売上高は、託送料金見直しの影響や夏季の高気温によるエリア需要の増加に伴う託送収益の増加などにより、前年同期に比べ18億円増加の2,309億円となりました。
セグメント損益は、労務費・物価および金利の上昇はありましたが、売上高の増加に加え、経営全般にわたる効率化などにより、前年同期に比べ27億円増加の28億円の経常利益となりました。
- その他の売上高は、前年同期に比べ85億円増加の1,121億円となり、セグメント損益は、子会社における水力発電所の稼働増や、建設業における売上高の増加などにより、前年同期に比べ28億円増加の107億円の経常利益となりました。

(単位：億円)

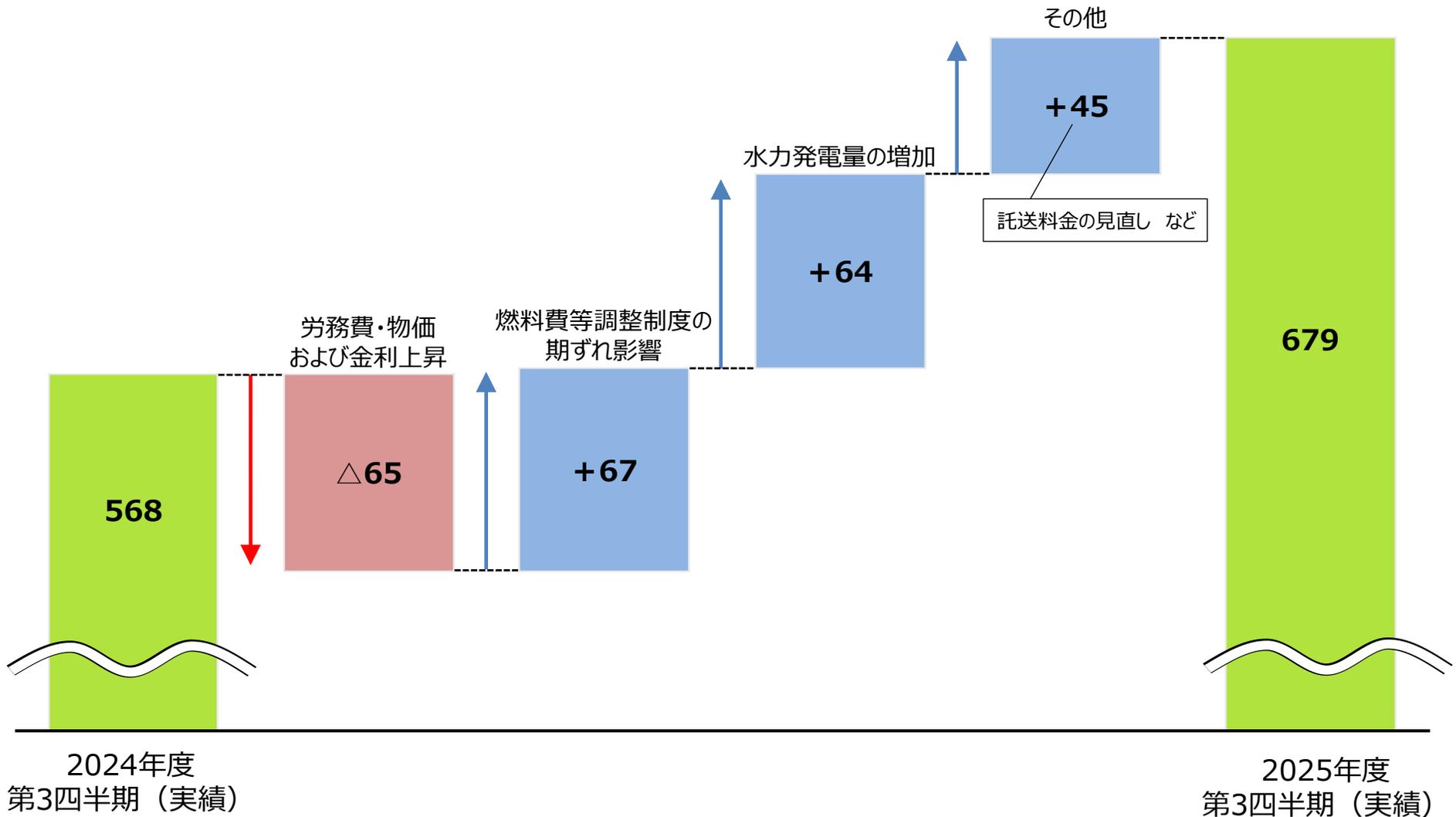
	当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)
売上高	6,177	6,464	△ 287
北海道電力	5,273	5,668	△ 395
北海道電力ネットワーク	2,309	2,290	18
その他 ※1	1,121	1,035	85
調整額 ※2	△ 2,527	△ 2,530	3
セグメント損益（経常損益）	679	568	111
北海道電力	574	507	66
北海道電力ネットワーク	28	0	27
その他 ※1	107	79	28
調整額 ※2	△ 30	△ 19	△ 10

※1 「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

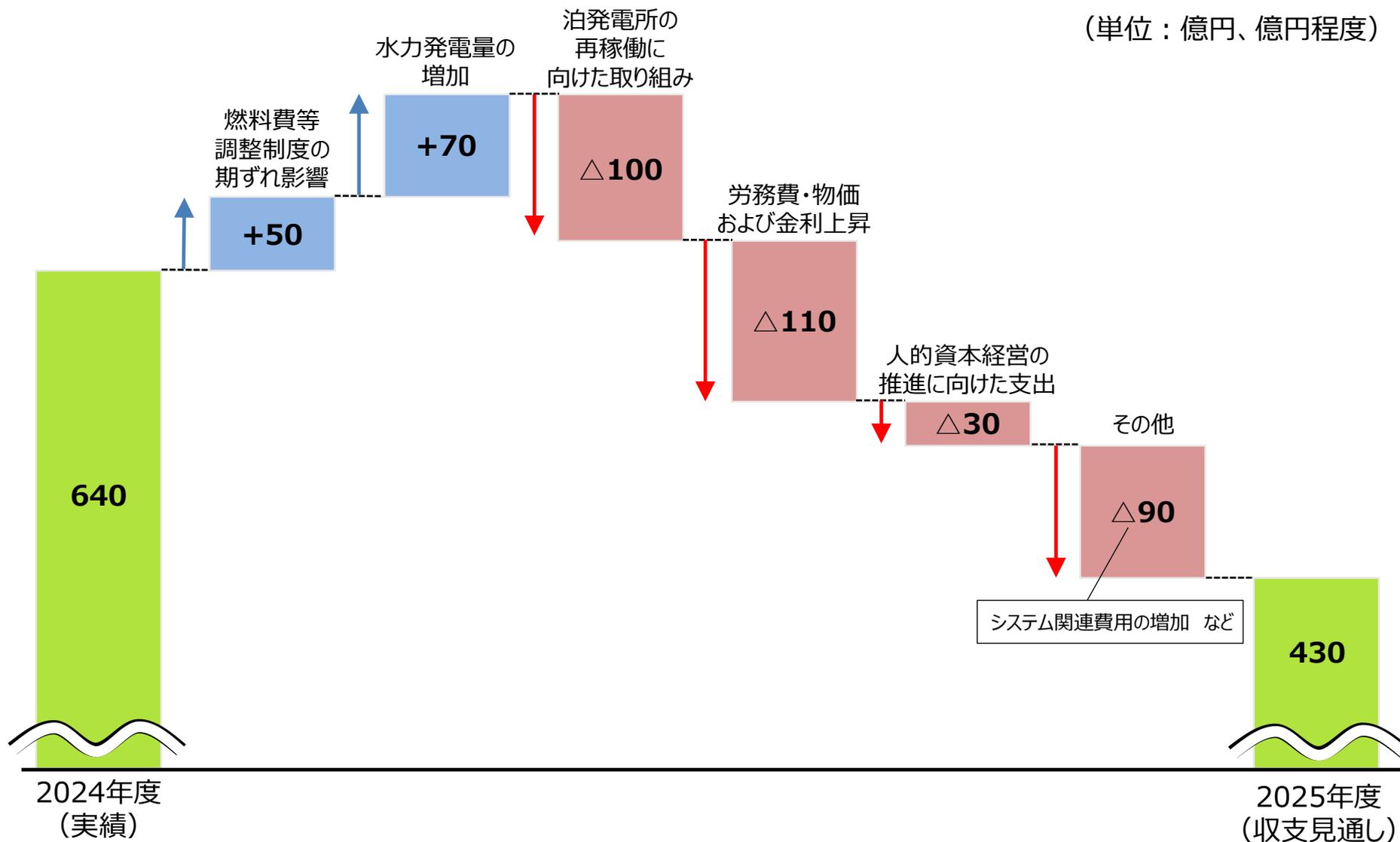
※2 「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

第3四半期 – 連結経常利益の変動要因 (対前年同期比較)

(単位：億円)



業績予想 – 連結経常利益の変動要因（対前年度比較）



(参考) 燃料費等調整制度の期ずれ影響 (イメージ)

